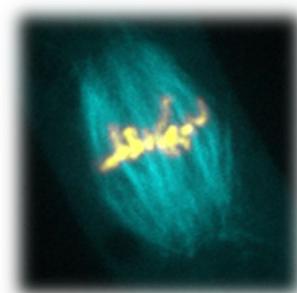


研究機関名	宮城大学			
プログラム名	和食に欠かせない美味しい植物を味わい、細胞が育つ様子ありのままに見る			
先生(代表者)	日渡祐二(ひわたし ゆうじ)・食産業学群・教授			
自己紹介	小学生の頃は、化石を掘ったり、クモや昆虫の観察をしていました。高校生で生物学にハマりました。今は植物が育つところを、細胞レベルで研究しています。顕微鏡で生き物を観察することが好きです。美味しい食材を食べることも大好きです。			
開催日・募集対象	2022年7月23日(土)	受講対象者	高校生	募集人数 15名
集合場所・時間	宮城大学 太白キャンパス 講義棟 1F ロビー	(集合時間)	9:30 受付開始	
開催会場	宮城大学食産業学群(太白キャンパス) 住所: 〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立 2-2-1 アクセスマップ URL: https://www.myu.ac.jp/access/			
内 容				
<p>お米、野菜は植物由来の食べ物です。和食に欠かせない海苔の原料も植物です。生きることは食べること。私達が生きるために必要な植物は、一体、どのように育つのでしょうか?海苔、野菜、お米を味わいながら、海苔の原料となる海藻や野菜、研究用植物の細胞を生きのまま観察してみませんか。そして、細胞が伸びていったり、2つに分かれたりする、ありのままの姿から植物の育ち方を考えてみましょう。</p>				
持ち物		特記事項		
筆記用具		試食をするので、アレルギーがある方は事前にお知らせ下さい。		
上履き		実験室で実験をするので、上履きを持参して下さい。		



スケジュール

9:30～10:00	受付（集合場所：宮城大学太白キャンパス 講義棟 1F ロビー）
10:00～10:20	開講式（オリエンテーション、科研費の説明）
10:20～10:50	講義「細胞を見て、作物、野菜、海苔を味わう」
10:50～11:00	講義質疑応答（ディスカッション）
	（10分休憩）
11:10～11:30	演習（グループディスカッション）「食材の食味試験と植物観察の実習計画を立てる：学内農場で野菜を採集」
11:30～12:00	実験「食材を味わう：イネ、トマト、海苔の味の違いは？」
12:00～13:00	昼食、休憩（学内で生産された農場農畜産物の試食あり、大学生や研究者との交流もします）
13:00～14:50	実験「野菜、コケ植物、海藻の細胞の成長を観察しよう：顕微鏡観察」
14:50～15:10	クッキータイム
15:10～16:20	実験「細胞の分裂を観察しよう」
16:20～16:40	実験のまとめ、質疑応答（ディスカッション）
16:40～17:00	修了式（未来博士号の授与）
17:00	終了、解散

課題番号	22HT0018	分野	生物・農学	キーワード	食料、植物、食味、細胞、成長、顕微鏡観察
------	----------	----	-------	-------	----------------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	宮城大学食産業学群・日渡祐二
住所	宮城県仙台市太白区旗立2-2-1
TEL番号	022-245-1214
FAX番号	
E-mail	hiwatash@myu.ac.jp
申込締切日	2022年7月8日(金)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2016年度 ~ 2018年度	基盤研究(C)(一般)	16K07406	植物細胞の分裂と伸長を同時に調節する微小管制御系の解明



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000010373193>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。